

2026 冬号

社協だより

ー長野原町社会福祉協議会だよりー

発行 社会福祉法人
長野原町社会福祉協議会住所 〒377-1305
長野原町大字与喜屋1624番地
長野原町老人福祉センター内
TEL 0279-82-4487
FAX 0279-82-0015

謹賀新年

会長 浅沼克行



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、輝かしい令和8年の新春をお健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より社会福祉協議会の活動に対しまして、深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年11月には、大分県大分市佐賀関地区において、170戸以上を焼失する大規模な火災が発生しました。被災された皆様には、改めまして心よりお見舞いを申し上げます。あわせて、現地において懸命に支援・復興活動に取り組まれた地域の社会福祉協議会をはじめ、多くの関係者の皆様に深く敬意

と感謝を表します。

災害は、いつ、どこで起こるか予測することができません。今回の出来事を通して、私たち一人ひとりが日頃から防災への意識を高め、地域全体で備えていくことの大切さを、改めて感じさせられました。

当協議会といたしましても、町民の皆様にとって身近で、信頼される存在であり続けられるよう、今後も努力を重ねてまいります。社会福祉協議会は、町民の皆様を支えるための組織です。お困りごとや心配ごとがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

本年も、スタッフ一同、皆様のお役に立てるよう誠心誠意取り組んでまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

あたたかいところ

下記の皆様よりご芳志をいただきました。

町老人クラブ連合会 様	100,496円
割田 三男 様	100,000円
長野原町建友会 様	20,000円
坂寄 良子 様	15,000円
匿名 様	2,779円
匿名 様	お米 10kg (備蓄米)
匿名 様	玄米 60kg
匿名 様	タオル約 100枚
匿名 様	電子レンジ・トースター

団体や個人の皆様 ペットボトルキャップ多数

福祉に対するあたたかい心をありがとうございます。地域福祉のため有効活用させていただきます。



△小林柳一町老連会長（写真右側）より浅沼社協会長に寄付金（目録）が手渡されました。

社会福祉協議会費の納入ありがとうございました

今年度の社会福祉協議会費の納入状況が下表のとおりとなりましたので、ご報告いたします。会費の納入につきましては、区長さんをはじめ各区の役員の皆様に大変お世話になりました。会費は福祉機器の貸し出し、生きがいサロン、配食サービス、紙おむつ等給付、知的障害者余暇活動支援等、社会福祉協議会の様々な事業に活用させていただきます。

普通会員		賛助会員		特別会員		その他		合 計
(500円)		(1,000円)		(5,000円)		(その他)		
会員数	金額	会員数	金額	会員数	金額	会員数	金額	
1,478	739,000	20	20,000	1	5,000	1	510	764,510
						会員数合計		1,500



長野原町老人クラブ連合会芸能発表大会 ～みんなで歌おう、みんなで踊ろう～

長野原町老人クラブ連合会（小林柳一会長）の芸能発表大会が令和7年12月7日（日）、町住民総合センターで開かれました。町内の老人クラブに所属する9組が踊りや楽器演奏、コーラスなどを披露しました。



連合会は町内6地区の老人クラブで構成され大会は各クラブ活動の活性を目的に始まり、コロナ禍を経て4回目となります。たくさんの来場者で賑わい、ハーモニカの伴奏で「長野原町の歌」を全員で歌って開幕となりました。踊り、ハーモニカ演奏、歌唱などの発表を楽しみ、最後の演目として、演者も観客も参加して会場全体で長野原音頭を踊って大会を締めくくりました。

みんなで取り組む ペットボトルキャップ回収活動

地域の皆様より多くのペットボトルキャップをご提供いただき、昨年も多数のキャップが集まりました。

令和 7 年に回収されたペットボトルキャップは、約 111kg でした。回収によって得られた収益は、世界の子どもたちへワクチンを届ける活動に活用されています。今回は、ポリオワクチン約 37 人分を送ることができました。

また、ペットボトルキャップをゴミとして焼却した場合、1kg あたり約 3,150g の CO₂ が発生します。リサイクルすることで CO₂ 削減につながり、環境保全にも貢献しています。

これからも皆様にご協力いただき、活動を継続していきます。

【お願い】

今後も活動を継続していくため、次の点にご配慮のうえ、ご協力をお願いいたします。

①金属類やピンは入れないでください。

②調味料や洗剤のキャップなどは入れないでください。

③シールはできるだけ取ってください。

④汚れたキャップはできるだけ洗い、乾燥した状態でお持ちください。

※ペットボトルのキャップのみの回収にご協力をお願いいたします。



－ 群馬県ふくし総合相談支援事業 －

なんでも福祉相談

「なんでも福祉相談」とは？

なんでも福祉相談は社会福祉法人による地域貢献事業です。どこに相談したらよいかわからないといった地域の方の生活や福祉に関する困りごとを受け止めます。（※費用は無料。ご相談はご本人でなくても構いません。）

「なんでも福祉相談員」

なんでも福祉相談員は、生活や福祉に関する困りごとをいったん受け止めます。その上で、把握した内容を整理し、可能な範囲での支援対応を行います。対応が難しい場合には、本事業のネットワークを活用し、より適切な支援先へつないでいきます。

生活上のお困りごと
私たち社会福祉法人に
ご相談ください！



手をつなぐ育成会 合同研修会実施しました

令和7年12月8日、手をつなぐ育成会西吾妻地区合同で、前橋市にある社会福祉法人あそか会を訪問し、障害福祉分野の取り組みについて視察研修を行いました。今回は、同法人が運営する赤城野荘およびルンビニー苑を見学させていただき、障害のある方への支援の実践について学びました。

赤城野荘では、利用者一人ひとりの生活リズムや特性を大切にした支援が行われており、安心して日常生活を送るための環境づくりや、丁寧な関わりが印象的でした。職員の皆さんが利用者に寄り添いながら、日々の暮らしを支えている様子を実際に見ることができました。

また、ルンビニー苑では、利用者の「できること」や意欲を大切に、社会参加や自立につながる支援が行われていました。利用者の思いを尊重しながら支援内容を工夫している点や、温かい雰囲気の中で活動が行われている点が心

に残りました。

今回の視察研修を通して、障害のある方が地域の中で自分らしく生活していくためには、本人の思いに寄り添った継続的な支援と、地域とのつながりが重要であることを改めて感じました。今後は、今回得た学びを社協の活動に生かし、障害のある方が安心して暮らせる地域づくりに努めていきたいと思います。

最後に、お忙しい中、貴重な見学の機会を提供してくださった、社会福祉法人あそか会ならびに赤城野荘、ルンビニー苑の皆さまに、心より感謝申し上げます。

【写真右】ルンビニー苑で説明を受けている様子



【写真左】赤城野荘でコーヒー豆の袋詰め見学



長野原高校の生徒さんが大型紙芝居の上演をしてくれました

生きがいサロンにて、大型紙芝居「浅間山噴火大和讃」の上演が行われました。今回は、長野原高校図書委員会と読み聞かせボランティアの皆さんにお越しいただきました。

令和7年11月28日は2年生の小林陽輔さん、増田誠也さん、福島遼也さん、片野悠さん、関志穂里さん、

12月17日は1年生の加藤佳大さん、木村依苗さん、日野海斗さん、干川輝晴さん、矢野莉愛さんが来てくださいました。

読み聞かせボランティアの皆さんは、長野原町内の小学校やこども園などで、日頃から読み聞かせ活動を行っています。

上演後、サロン利用者の皆さんからは、「すばらしい絵と立派な発表でした」「知らなかった地元の歴史がわかり、勉強になりました」などの感想が聞かれました。

また、「長野原高校の皆さんが駅から学校へ

歩いていると、町に活気が出る。皆さんは町の宝。長野原高校を選んでくれてありがとう」と、笑顔で話してくれる方もいました。

利用者の皆さんは、高校生との交流をととても楽しんでいる様子でした。

またお越しいただける日を、心待ちにしています。

【写真右】

11月28日に来た
2年生の皆さん



【写真左】

12月17日に来た
1年生の皆さん

